

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.byoujihoiku.ne.jp>



= 今号の目次 =	
1 頁 第 15 回全国病児保育研究大会開催要項	ん保育室
2 頁 加盟施設紹介	すこやか病児保育室
病児保育エンゼル、こぐま園	広報委員会からのお願い
乳幼児デイケア「トロイメライ」	4 頁 第 14 回全国病児保育研究大会アンケート集計
高山さとう内科病児保育室	5 頁 ブロック便り 熊本ブロック
3 頁 加盟施設紹介	6 頁 診察室から5・リレー保育日誌5
こどもデイケアルーム"さくら"	7 頁 必携新病児保育マニュアル紹介
医療法人啓友会 あべこどもクリニック くまさ	8 頁 新規加入施設紹介

第 15 回全国病児保育研究大会開催要項

開催日時：平成17年7月17日(日)
～7月18日(月・祝日)

開催場所：岡山県岡山市

参加費用：会 員(事前)5,000円、(当日)6,000円
非会員(事前)7,000円、(当日)8,000円

申込締切：(事前登録)平成17年6月30日まで

申込方法：全国病児保育のホームページから

インターネットでの申込み

申込書をダウンロードしてFAXで申込み

第1日目：平成17年7月17日(日) シンフォニーホール	第2日目：平成17年7月18日(月・祝日) ホテルグランヴィア
10:00 開会式	9:00 大会会頭講演
10:20 市民公開講座 演 題 病児保育 「地域で子ども達が健康で輝いた生活をおくるための環境づくり」 ～親のこころ・子のこころ～ 座長：全国病児保育協議会名誉会長 保坂智子先生 講師：日本こどもNPO センター常務理事・川崎医療福祉大学教授 佐々木正美先生	演題 「病児保育とそれを取りまく社会環境」 ～連携と課題～ 大会会頭 青木佳之
12:00 < 昼食 >	10:00 行政説明 演 題 「少子対策における病児保育の課題と期待される役割」 厚生労働省母子保健課長 佐藤敏信先生
12:45 総会	10:30 分科会
13:00 基調講演「少子化社会対策の現状と課題」 内閣府 講師：全国病児保育協議会顧問 帆 足英一先生 講師：内閣府少子・高齢化対策 第一担当参事官 増田雅暢先生	1 会場テーマ 管理運営(市町村との連携、保育所における管理、 経理・人材育成)
14:00 シンポジウム テーマ：少子高齢社会での未来を開く 病児保育 「地域で子ども達が健康で輝いた生活をおくるための環境づくり」 ～家庭・地域・関連機関の役割～ 座長：内閣府少子・高齢化対策 第一担当参事官 増田雅暢先生 全国病児保育協議会顧問 帆 足英一先生 シンポジスト： 国の立場から 行政の立場から 教育の立場から 病児保育の立場から 保育園の立場から 利用者の立場から	2 会場テーマ 保育中の事故及びリスク管理、感染対策
17:00	3 会場テーマ 家族関係、親子関係、虐待、人権問題
18:00 懇親会(ホテルグランヴィアにて)	4 会場テーマ 遊び、レクリエーション、保育・看護の質の向上
	5 会場テーマ 食育の問題(食事、おやつ他)
	12:00 < 昼食 >
	13:00 ステップアップ研修
	14:10 基礎研修 「保育1」「看護1」「病児保育総論」
	15:10 < 休憩 >
	15:20 「保育看護」
	16:40 閉会式

加盟施設紹介

病児保育エンゼル

エンゼルは“お伊勢参り”で有名な三重県伊勢市の中心地域にあります。

神田小児科の医療併設型施設で定員4名、隔離室など3つの保育室があります。老人介護施設と併設しているので人数や症状によって必要な対応ができます。

それに介護施設の調理室もあり、子どもの年齢や症状に合わせて食事を用意することができます。

まだ開設して2年ですが5市町村と委託契約し、多くの子どもたちに安心して利用して頂けるよう、きめ細

かな保育看護を心がけています。

保育士 柴田 絵里
所在地 :516-0072
三重県伊勢市宮後
3-7-61
TEL:0596-20-6512



こぐま園

こぐま園は、平成13年4月、市民の要望に応え、県内2番目に開設されました。水沢病院の医師公舎を改築したもので、あたたかい家庭的な雰囲気があります。

単独型ですが、水沢市立病院のバックアップをいただき、食事を入院患者さんと同様月齢に合わせて栄養科で作っていただいたり毎日11時に小児科医の健康チェックや急変時の早期対応など、併設型と同じように安心できると思っています。

水沢病院の副院長が小児科長であり、こぐ

ま園の園長です。先生は、子どもを守る事を常に考え、取り組んでいただいております。家族からは細かいフォローに感謝されています。

私達は、子どものすべてを受け入れ、心で会話したり、本気で接することに心がけ取り組んでいます。

保育士 佐藤 良子
看護師 和賀 寿美恵
所在地 :023-0053
岩手県水沢市搦手丁
9-26
TEL:0197-25-5039



乳幼児デイケア

「トロイメライ」

乳幼児健康支援一時預かり事業として平成13年4月に開設しました。名称はR・シューマンの13曲からなる小品集「子どもの情景」七曲目の有名な作品に由来しています。夢をみるようにという意味でやすらかに眠る子どもの夢を想像して綴られた作品です。

診療所併設型、定員4名、スタッフは、ベテランの元幼稚園の先生、二名の保育士さん、看護師一名さらに家内がサポートしてくれています。施設は、祖父がこの地で開業した際に建てた大正時代の医院を、外観はその

ままに再現し、内部は可能な限り化学物質等を使わず大胆にリフォームし、テーブルや家具、下駄箱などは当時のものを再利用しています。詳細はHP上に公開していますのでご覧になって下さい。

<http://www.koori-childrens-clinic.com/>
施設長 桑折 紀昭
所在地 :789-0040
愛媛県宇和島市中央町
1-10-5 こおり小児科内
TEL:0895-24-5633



高山さとう内科 病児保育室

医院の拡張増築を機に地域の皆様の要望を受け増築部分の2階に病児保育室を平成16年10月に開設しました。現在定員は4名ですが12名まで増員可能なスペースが確保してあります。

保育室内での二次感染予防に重点をおき、できるだけ日常生活に近い環境で過ごせるよう配慮し、食堂を設け食事と保育を区別しました。

エレベータで1階の診療分門の処置室につながり緊急時対応にも備えています。

保護者とスタッフとの談話、相談、指導等

に専用のコミュニティールームを設け活用しています。

登録児も200名を越しこの2月は延べ利用者数も60人を超えました。行政の補助が受けられず、利用者の方に料金の面で負担をかけています。行政の改善を期待しています。

保育士 佐藤 茂美
所在地 :486-0912
愛知県春日井市高山町
2-9-7
TEL:0586-33-3275



加盟施設紹介

こどもデイケアルーム

“ さくら ”

当施設は、岡山県北の城下町津山市にあり、今年で4年目を迎えます。開設当初は定員2名でしたが、利用者の増加に伴い、現在は定員4名で常勤保育士2名が保育にあたっています。有床診療所内の施設ですので、病状に変化があれば医師や看護師による迅速な処置ができます。

安心して利用していただくために心がけていることは、保護者とのコミュニケーションです。メールで子ども達の様子をお知らせをしたり、保護者からの問い合わせにも応じています。子ども達には楽

しい思い出を持って帰ってほしいという思いから、無理のない程度で季節の遊びや行事を取り入れています。

病児保育のニーズが高まっている今、地域のお母さんたちの子育てに少しでも役立つことを願っています。

看護師 松尾 千鶴子
所在地 :708-0013
岡山県津山市二宮
2137-10 河原内科・松尾小児科クリニック
TEL:0868-28-5570



医療法人 啓友会 あべこどもクリニック

くまさん保育室

八千代市の委託事業として、平成11年4月1日より開室しました。個室(4)、隔離室(1)、20畳の大部屋(2)があり、日当たり良く、明るく天井には子どもの目を楽しませる装飾に工夫しています。

子どもの症状を良く把握しながら、症状の変化など2階の医療機関との連携を密にしています。また、子どもに即した休養と遊びを導入して笑顔が見られるよう配慮しています。

食事は、食べやすいように麺類にしたり、食品数を多くし、食欲

のない子どもでも少しは口にできるように症状に応じた献立を心がけています。

家庭的な雰囲気でお気の子どもがより早く回復できるように、また、保護者が安心して預けられる保育室として従事者一同努力を重ねています。

保育士 飛田 敏子
所在地 :276-0028
千葉県八千代市村上
4472-5
TEL:047-487-1003



すこやか病児保育室

すこやか病児保育室は、2002年1月に呉市の公的補助を受け市内唯一の医療機関併設型病児保育施設として開設、運営しています。

当保育所の特徴は、病気ごとに部屋を分けた病種別保育の実践で、保護者に大変喜ばれリピーターが増えています。施設定員も2002年度10月より4名から10名に増員できるように交渉しています。

母親が仕事を継続するために病児保育室の果たす役割は大きいと思います。子どもたちに安心して楽しく過ご

してほしいと思うのはむろんのこと、保護者、保育士間で保育を超えた安心できる人間関係、癒しの場としての保育室を目指して日々がんばっています。

保育士 中本 聖子
所在地 :737-0046
広島県呉市中通2丁目2-9
TEL:0823-22-2784



広報委員会からのお願い

協議会加盟施設・準会員のみなさん、病児保育ニュースをご愛読ありがとうございます。

広報委員会では、病児保育ニュース通常号を年4回発行すべく作業を進めています。しかし、ここ数年原稿不足のため年3回しか発行できていません。

加盟施設も300を超えた現在、全ての加盟施設が一同に会する事が不可能に近い状態となっている中で、病児保育ニュースが、協議会や全国の加盟施設の様子を知る重要な役割を担っていると、広報委員会は考えています。ぜひ、広報委員会からの原稿依頼に積極的に御協力下さい。

また、原稿・御意見等もしどしお寄せ下さい。送り先は以下の広報委員まで

〒036-8092 青森県弘前市城東北4-4-20
城東こどもクリニック ことりの森 担当：竹内
TEL0172-29-3112 FAX0172-29-3118

〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3-24-3
バンビーノ 担当：佐藤
TEL043-293-2503 FAX043-293-2503

〒458-0006 名古屋市緑区細口3丁目531
なずな病児保育室 担当：前田
052-877-7588 052-877-7595

〒536-0001 大阪市城東区古市1-19-23 大阪福祉事業財団すみれ乳児院
すみれこどもケアルーム 担当：小田
06-6934-8868 06-6934-8868

〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須3丁目8-56
ますだ小児科内病児保育室バンビ 担当：増田
082-508-2323 082-508-2324

第14回全国病児保育研究大会アンケート集計

第14回全国病児保育研究大会(横浜市)についてのアンケート集計ができましたので報告いたします。全体で248枚の回答をいただきました。不参加施設からも36枚回答があり、職種は保育士(124)、看護師(59)、医師(18)の順でした。大会に参加された方の印象は表に示しますように、両日の全プログラムにおいて良い・普通が圧倒的に多く、概ね大会の目的が果たせたものと思われる。行政説明のみ30%近くの方から改善すべきという意見がありました。個々のプログラムに自由意見をいただいておりますので、主だった点を取り上げ集約しました。

行政説明については、

乳幼児健康支援一時預かり事業についての詳細説明を希望する意見が多い一方で、事前に資料を提示して重点事項を簡潔に理解しやすく工夫してほしいなどの要望がありました。質疑応答が参考になり、もっと時間をかけてもよかったかと思われます。

基調講演(病児・病後児保育の課題と問題点)では、

専門性の向上、病児保育の必要性を改めて実感したなど内容については良かったが、会場が狭く見づらかったようです。今後、本大会の参加者の増加に伴って主会場は十分な収容力の確保に留意する必要があります。

特別講演(子どもの感染症)は、

感染症は病児を預かる病児保育関係者にとってはさけて通れない話題であり、隔離や消毒など感染症対策への取り組みなど興味深い内容でした。とても解りやすく、プラスだったという意見が多かったです。感染症についての勉強をもっとしたい、感染症対策について詳しい説明、質問の時間を増やしてほしいなどの要望の他に、資料や講演録をほしいという意見もあり、抄録だけでなく講演集などの記録を残すことが課題のようです。

基礎研修では、

病児保育総論について、初参加なので勉強になったという一方、

基本に戻る意味で何度聞いても良いという意見もありました。

看護師のための保育知識でも、基本に戻れるので何度聞いても良いと感じる、保育士として参加しても原点に戻るような内容で満足しているなど好評でした。

保育士のための看護知識でも、基本に戻れるので何度聞いても良いと感じるという意見と、内容が専門的でやや難しかった、手元に残る資料がほしいなど、保育職に分りやすい内容にする工夫も必要なようです。

ステップアップ研修の、食物アレルギーと除去食では、

話がとても分りやすく勉強になった、特に除去食についての話は仕事に役立てることができるといった実際的な話で良かったと好評でした。しかし、専門用語が多い、会場の関係でスライドが見えにくかったということから、事前に資料をほしいという要望がありました。

子どもの呼吸障害でも、小児の呼吸器の特徴を分りやすく説明されすぐに現場に持ち帰ったなど、実際的な話で良かったという意見の一方で、スライドが見づらかったなど会場設定の方法に課題が残りました。

ステップアップ研修の内容については、看護面だけでなく保育の遊びの視点からのステップアップも今後期待しているという意見があり、参考にしたいと思います。

分科会では、

B 病児保育のあり方を問うについて、分科会のテーマと発表内容がマッチしていない気がした、施設長研修の分科会は演題に合っていなかったなど、施設長研修のあり方には工夫が必要なようです。

C 遊びと環境では、各施設の実践報告があり、参考になった、他の保育士さんの意見や話が聞けて参考になったなど肯定的な意見が多い中で、病児保育ならではの遊び・環境、病気の症状に応じた違った遊びを紹介して欲しかったなど、専門性も求められるようです。

D 病児保育のニーズと問題点では、他の施設の事がよく解り同じ悩みを抱えていると感じられて良かった、さまざまな意見交換ができてよかった、各発表後の話し合いの時間がもう少しほしいと積極的な意見が多かったです。

E 保育・看護では、職種の枠を超えて、お互いの専門性向上について真剣な話し合いが出来た、保育看護についての考え方や日々の保育の問題点、疑問点などを聞くことが出来て良かったと有意義な分科会のようなものでした。また、参加者も多いので、より論点をしぼってディスカッションできるように運営の工夫が必要であると思われました。

F 保育所併設型セッションでは、色々な話を聞くことで共感して勉強できるので良かったという意見の一方で、施設長が多く一般的な相談がしづらかったという意見もありました。

G なんでも相談では、他の施設の現状を知る良い機会であった、施設長レベルの質問内容が多いという意見がありました。

ポスターセッションについては、

他の施設の様子(写真や図で)具体的に展示してあって解りやすく参考になった、広くスペースが取られていて見やすかった、気軽に質問することが出来てとても良かったと大変好評で、気軽に参加でき発表する側にとっても発表しやすいシステムのようなものでした。次回も続けて欲しいという意見にお答えしないといけないようです。しかし、参加者が少なくもったいないと思った、見に行きたかったが各講座が同時進行のため見られなくて残念だった、どこにあったか知らないのを見ていないなど、このセッションの場所と時間の設定に工夫が要ると思われました。

その他、

上記以外にたくさんの意見をいただきました。特に、基礎研修、ステップアップ研修の内容や分科会の運営方法についてのご意見、講習や講演では資料やテキスト

の事前事後の準備や配布への希望が具体的に出されました。もっと参加者にディスカッションの場を提供してほしいという積極的なご意見が多く、参加者の意識が非常

に高い大会であると実感できました。がんばっている仲間がたくさんいる心強さ、そして多くの刺激と力をもらった、すばらしい街で立派な会場でとても楽しい思い出

が出来た、来年も期待している、皆に会える日を楽しみにしているという多くの声に答えて行かねばならないと思われました。

回収数 248枚・内参加 212枚・不参加 36枚(1枚で複数名の回答あり)

職種	医師	理事長 施設長	園長5・主任 ・副園長	事務長 事務	児童心理員・教員・ 社会福祉士・大学助手	保育士	看護師	栄養士8 調理師2	無記名
240	18	2	7	2	4	124	59	10	17

7月18日	参加	良い	普通	改善
市民公開講座	120	53	51	0
行政説明	167	35	71	48
基調講演	175	121	46	1
特別講演	168	114	46	3

7月19日	参加	良い	普通	改善
基礎研修(総論)	103	55	44	1
基礎研修(保育講座)	91	61	27	0
基礎研修(看護講座)	96	42	37	15
ステップアップ研修(除去食)	97	81	12	0
ステップアップ研修(呼吸障害)	87	66	17	1
調査委員会報告	40	12	26	0
分科会B(施設長研修)	27	15	9	3
分科会C(遊びと環境)	49	30	9	2
分科会D(問題点)	34	22	9	3
分科会E(保育・看護)	55	28	17	9
分科会F(保育所併設型)	23	15	8	0
分科会G(なんでも相談)	9	5	2	1
実習講座(日赤幼児安全法)	14	14	0	0
懇親会	90	56	23	6
託児室	7	5	0	0

東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

熊本ブロックから
平成16年度熊本病児保育フォーラム
みるく病児保育室

3月6日(日)熊本で「平成16年度熊本病児保育フォーラム」を開催しました。

今回は、昨年(平成15年)11月に行った研修会で「与薬」の問題を取り上げて欲しいという、保育園からの要望に答え、「園でのよりよい与薬環境を目指して」という分科会と、玉名の前田小児科院長であり、熊本県で最初に「病児保育施設レインボ-ル-ム」を作られた、前田利為先生による「病児保育における育児情報」と題しての県民公開講座にわかれて開催し、160名の参加者がありました。

前田先生のお話では、「病児保育」とはどんなものなのか、どのような保育看護がなされているのかを、学生や、利用したいと考えている保護者にわかりやすくお話していただき、質疑応答で、「園と病児保育室の連携をうまくするには?」や「病児保育施設が近くなくて、困っている」「園での発熱時、どれくらいまで園で様子を見ていいのか?」などいろいろな質問に対して、丁寧にお答えいただき、「行政に対して、生の声をどんどん伝える。行政にがんばってもらいましょう」と話されまし

た。

もうひとつの「園でのよりよい与薬環境を目指して」では、熊本県下520あまりの保育園、幼稚園からの「与薬」に関するアンケート結果が報告され、「与薬の時間がずれてしまったり」「座薬の使用について」また、「与薬依頼表について」などを基本活発な討論が、「保育園の立場」と「小児科医の立場」からなされました。

「これから、熊本県小児科医会と保育園が歩み寄り、子どもたちにとって何が一番いいのかを論議していきましょう」との、みるく病児保育室の理事長でもあり、小児科医でもある浦本恭子先生が話されると、会場の保育士から「是非、取り組んでいきましょう」という声があがり、とても有意義な時間を持つことができたと思えました。

診察室から5

—小児科クリニックでの医療保育(病児保育)—

病児保育室「バンビ」

医師 増田 宏

病院というのは、子ども達にとってはやはり怖いところです。[病院 注射 痛い]というイメージがあります。しかし、保育士が主役になれば、病院のイメージを変えることができます。保育士が医療を手伝うではありません。保育士を中心に医療を行うことが出来れば、病院に行くこと、治療を受けることが嫌でなくなるかも知れません。それが医療保育士の役割です。英語で言う Child life specialist というのは、直訳すれば、子どもの命を支える専門家です。

医療保育士には医療知識が必要です。では、保育士は何処で医療知識を学ぶことができるのでしょうか？ 私達の目標は、小児科クリニックで医療保育士を養成することです。今回から4回にわたり、当院の保育士の取り組みを紹介します。

ますだ小児科は、周囲を広島市に囲まれた人口およそ5万人の安芸郡府中町にあります。平成13年に開院し、今年5年目を迎えます。

した。外来患者数は昨夏は一日平均100名、冬は150名でした。開院とほぼ同時に病児保育室バンビを開設しました。現在、常勤保育士3名と非常勤保育士1名が勤務しています。

常勤保育士は、病児保育と医院の待合保育と診療介助の三つの業務をローテーションしています。非常勤保育士は病児保育と心理相談・育児相談を担当しています。

<病児保育>病児保育室バンビは府中町の委託により開設しています。定員は4名ですが、町外からの利用者のためにさらに2名の枠を用意しています。専任看護師1名と保育士(1~2名)が勤務し、最大6名の病児をお預かりしています。

利用児童は、毎朝クリニックで医師の診察を受けます。その際病児保育室担当の看護師が同席し、診察時に医師から児童の病状の説明とその日の看護・保育計画を指示されます。また、午前中の診察介助は保育士が行っていますの

で、計画に保育士がかかわることもあります。診察終了後に看護師は保育室に戻り、保育室の保育士と一緒に児の看護・保育計画を作成します。

保育室では、保育士と看護師が協力して、検温、薬の内服、スキンケア、食事の介助などを行い、一緒に遊んで過ごし、子どもたちが安心できる環境づくりを心がけています。特に、食事については保護者からアレルギーの有無を確認し、医師連絡表をもとに、年齢や症状に沿って献立を決定しています。

また、当病児保育室では、毎週、火・木・土に児童心理相談員が育児についての悩みをかかえる保護者に対してのカウンセリングや児童に対して遊戯療法を行っており、子どもの心身を癒す場であると同時に、母親あるいは父親の子育て支援の場となることを目指しています。

今回は、保育士による診療介助を紹介します。

し〜保育日誌5

病児保育室こひつじ

保育士 清水 麻利子

東大阪市の病児保育室こひつじは、一日の流れの中で朝の自由遊びからそれぞれの子ども達の興味のあるものをキャッチし、病気の時でも楽しく保育士とふれあいながら遊べることを大切に、「遊びのおもちゃ箱会議」と名づけ月2~3回話し合います。

今回は「春」をテーマに子ども



の手形を蝶々の模様に見たて、くるくる棒(チラシを細く巻いたもの)につけた「ヒラヒラ蝶々」が大人気です。

入室する子どもが描いたお花や動物などの絵を部屋の壁面にし、そこに飛ばしたり、季節の歌を歌いながら、部屋の中を飛ばしながら、探索することでおもちゃの場所やトイレの場所など「病児保育室こひつじ」を知ることもできます。

おながすいたので、「おいしい蜜を吸おう」と保育士が花になってジュースを持ち、水分補給につなげていったりします。ヒラヒラ蝶々から簡単な「ごっこあそび」に発展させることもあります。

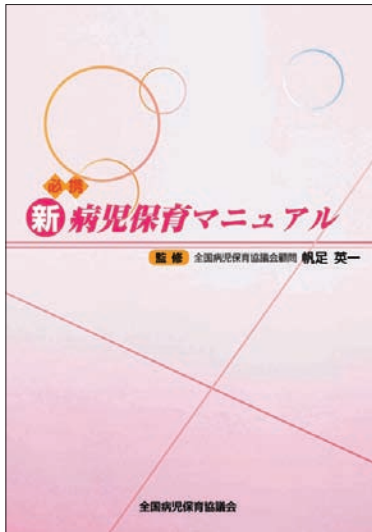


いろいろな色の画用紙を用意して子ども達が好きな色を選べるようにします。
手形スタンプを使い、ペタリとその感触を楽しみながら手形をとります。

チョウチョウの顔は、丸いシールを利用します。
それをくるくる棒につけると完成。
本当の花にとませたり、キーボードの音にあわせ歌ったり、壁

に飾って少人数の部屋のお友達を増やしたり、子ども達の言葉や思いを受け止めるとドンドン一緒にイメージが膨らみ楽しいですよ。

待望の全面改訂版完成



B5判 378頁
販売価格 1冊
会員 3,000円
非会員 4,000円
(税込・送料協議会負担)

お申込み方法

病児保育協議会のホームページより申込書をダウンロードしていただくか、事務局より申込書を入手して下さい。電話での申込は誤配送の恐れがありますので御遠慮下さい。

なお、会員施設・準会員の方には、特典として謹呈本を送らせて頂いています。手違いで、謹呈本が届いていない会員施設や準会員の方がいらっしゃいましたら、事務局まで御連絡下さい。



必携 新病児保育マニュアル

病児保育マニュアルが、全面的に改訂されました。今回の改訂では、より解りやすく、利用しやすいを基本に4部17章で構成されています。病児保育における現在の課題を最新の情報と丁寧な説明で、病児保育に携わる全ての人に必読して頂きたいマニュアルになっています。是非、お手元に置いて頂き、日々の看護・保育にお役立て下さい。

マニュアルの構成は以下のようになっています。

序 文

監修のことば

目 次

第1部 病児保育の概要

- 第1章 病児保育とは
- 第2章 病児保育の歴史
- 第3章 タイプ別病(後)児保育室の特徴と課題
- 第4章 病児保育の発展に向けて - 今後の課題

第2部 病児保育における保育看護

- 第5章 「保育看護」の専門性とは
- 第6章 病児保育における保育
- 第7章 病気の子どもの心理
- 第8章 病児保育における保健管理
- 第9章 代表的な症状や疾患への対応
- 第10章 乳幼児突然死症候群(SIDS)・救急蘇生
- 第11章 病児保育とリスクマネジメント
- 参考例 インシデント・アクシデント・レポート(例)

第3部 事業開始から運営まで

- 第12章 補助金事業受託への道
- 第13章 病児保育におけるモデル設計・設備・備品
- 第14章 病児保育室に整備すべき帳票・書類
- 第15章 病児保育における医療・保健・福祉の連携
- 第16章 病児保育の自己評価・第三者評価
- 病(後)児保育室 自己評価シート

第4部 病児保育の実態

- 第17章 病児保育の実態

資料

あとがき

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXやメールでお送りください。直接回答させていただきます。ニュース等に掲載させていただきます。

送付先: FAX 06-6442-5788、メール fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

好評販売中です

「病児保育10年のあゆみ」

病児保育協議会が発足してから12年目を迎えました。発行計画から2年おくれましたが、みなさん待望の10周年記念誌「病児保育10年のあゆみ」がやっと完成しました。発足から10年間の協議会の歩みを網羅した貴重な資料を豊富に掲載しています。ぜひ、御購入ください。

B5版 104頁

内容

第1部祝辞、第2部座談会、第3部10周年今後の課題、第4部病児保育の現場から、第5部保護者・利用者の立場から、第6部資料

価格は1冊1600円(送料・税込み)

申込は、全国病児保育協議会事務局まで

新規加入の全国病児保育協議会施設

314 社会福祉法人菊美会 たかはた北保育園
園長 坂田 幸子
〒191-0031
東京都日野市高幡507-4
TEL:042-591-5003 FAX:042-591-5069

315 キッズメディカルステーション
院長 荒井 俊秀
〒143-0024
東京都大田区中央7-15-14-102 荒井クリニック
TEL:03-3755-8827 FAX:03-3751-0515

316 三俣保育園併設病後児保育室(仮)
園長 村山 良子
〒347-0011
埼玉県加須市北小浜572
TEL:0480-62-6820 FAX:0480-63-1063

317 高山さとう内科病児保育室
院長 佐藤 俊英
〒486-0912
愛知県春日井市高山町2-9-7
TEL:0568-33-3275 FAX:0568-33-3275

318 甲賀市児童福祉センター
所長 田代 日出代
〒528-0032
滋賀県甲賀市水口町八坂4-10
TEL:0748-65-5511 FAX:0748-65-5511

318 橘高クリニック病児保育室
橘高 英之
〒729-0113
広島県福山市宮前町2-4-25
TEL:084-934-0722

これ以降の加盟施設は次号で

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させていただきます。原稿をお待ちしています。

<協議会ニュース 編集事務局>

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-5

(株)関西共同印刷所内 藤本 文孝 宛

TEL.06-6453-3675 FAX.06-6442-5788

E-mail fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

全国病児保育協議会事務局

〒870-0943 住所：大分県大分市大字片島83-7 大分こども病院気付

担当：伊東 美紀 電話：097-567-0050(代表) FAX：097-568-2970